

地域包括ケアシステムが推進する在宅 医療 ～患者が求める薬剤師の在宅医療～

武政 景太
株式会社 ボン・アーム

地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。**
地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。**



地域包括ケアシステムの姿



出典:平成25年3月 地域包括ケア研究会報告書より

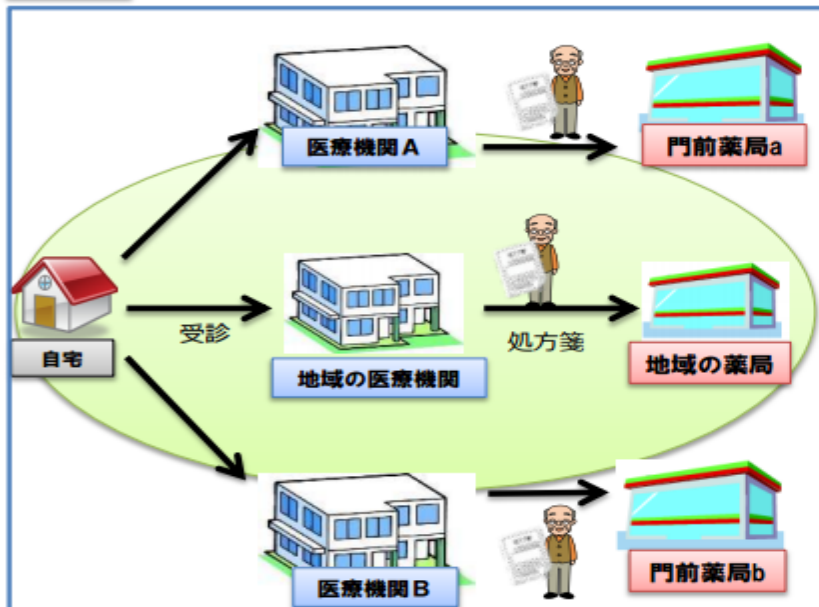
地域包括ケアシステムを行う薬剤師の役割とは？

医薬分業に対する厚生労働省の基本的な考え方

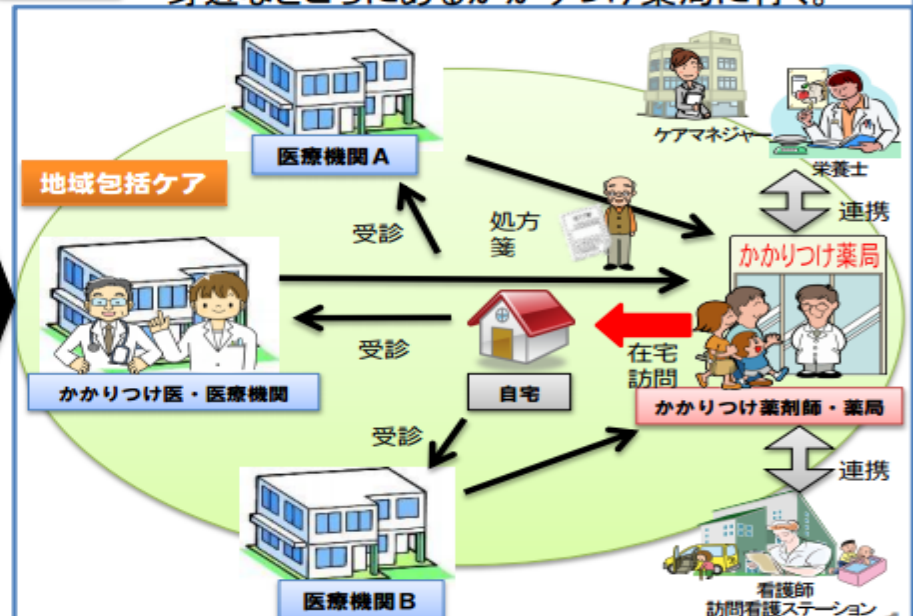
- 薬局の薬剤師が専門性を発揮して、ICTも活用し、患者の服薬情報の一元的・継続的な把握と薬学的管理・指導を実施。
- これにより、多剤・重複投薬の防止や残薬解消なども可能となり、**患者の薬物療法の安全性・有効性が向上**するほか、**医療費の適正化**にもつながる。

今後の薬局の在り方(イメージ)

現状 多くの患者が門前薬局で薬を受け取っている。



今後 患者はどの医療機関を受診しても、身近なところにあるかかりつけ薬局に行く。



かかりつけ薬剤師制度

「かかりつけ薬剤師」制度がはじまりました

心薬を処方する心薬処方箋を処方する薬剤師が対応してくれる。

毎週、十分な経験を積んだ主任の薬剤師が対応してくれる。

お薬に関することは、すべて任せられる。

ご相談は24時間365日。

お問い合わせ・ご相談はお気軽にどうぞ。
アイ貴州薬局
 (川内店)
 徳島県徳島市川内町下町3-300-1
 TEL.088-637-1063
 FAX.088-627-1064

「かかりつけ薬剤師」制度がはじまりました

心薬を処方する心薬処方箋を処方する薬剤師が対応してくれる。

毎週、十分な経験を積んだ主任の薬剤師が対応してくれる。

お薬に関することは、すべて任せられる。

ご相談は24時間365日。

お問い合わせ・ご相談はお気軽にどうぞ。
ミタニ調剤薬局
 (徳島店)
 徳島県徳島市本町西町10番地
 TEL.088-611-3435
 FAX.088-611-3438

「かかりつけ薬剤師」制度がはじまりました

心薬を処方する心薬処方箋を処方する薬剤師が対応してくれる。

毎週、十分な経験を積んだ主任の薬剤師が対応してくれる。

お薬に関することは、すべて任せられる。

ご相談は24時間365日。

お問い合わせ・ご相談はお気軽にどうぞ。
ミタニ調剤薬局
 (中徳和分店)
 徳島県高松市中徳和町1丁目2-2
 TEL.088-602-1110
 FAX.088-602-1112

「かかりつけ薬剤師」制度がはじまりました

心薬を処方する心薬処方箋を処方する薬剤師が対応してくれる。

毎週、十分な経験を積んだ主任の薬剤師が対応してくれる。

お薬に関することは、すべて任せられる。

ご相談は24時間365日。

お問い合わせ・ご相談はお気軽にどうぞ。
ミタニ調剤薬局
 (高松店)
 徳島県高松市東町西町1丁目1番地
 TEL.088-692-5777
 FAX.088-692-6011

「かかりつけ薬剤師」

アンケート・調査

2014年から2016年間に来局された患者さんを対象
年齢49歳から88歳
人数51人



対象店舗



アイ調剤薬局 川内店

無菌調剤室完備

〒771-0134 徳島市川内町平石住吉320-1

Tel 088-637-1063 Fax 088-637-1064

月・火・水・金 9:00 ~ 19:00

木・土 9:00 ~ 18:00

日・祝祭日 休み

処方せん枚数
平均1874枚/月

アンケート内容

在宅医療に関するアンケートのご回答をよろしくお願い致します。

年齢(75)才

性別(男) 女

Q1. 在宅医療を受けるとき、薬剤師が自宅に来て薬などの相談をする事についてどのようにお考えでしょうか。一つだけ選んでください。

- 1) 基本的には毎回来てほしい
- 2) 2回に一回位の頻度で来てくれればいい
- 3) 初めてのときは来て欲しいが、その後は特に来てもらわなくてもいい。
- 4) 特に来てもらわなくてもいい
- 5) どうでもよい

Q2. 在宅医療で薬剤師に話してほしいことは何ですか。選んでください。

- 1) 今服用している薬について
- 2) 服用している薬以外の薬について
- 3) 医師が作った処方箋内容についての薬剤師の意見
- 4) 新しい治療薬について
- 5) 薬の服用についての相談
- 6) 生活上の相談
- 7) 雑談相手をしてほしい

Q1在宅を受けるとき、薬剤師が自宅に来て薬などの相談をすることについてどのようにお考えでしょうか？

- * 1) 基本的に毎回来てほしい
- * 2) 2回に一回くらいの頻度で来てくれればいい
- * 3) 初めての時は来てほしいが、その後は特に来てもらわなくてもいい
- * 4) 特に来てもらわなくてもいい
- * 5) どうでもよい

Q2在宅医療で薬剤師に話してほしいことは何ですか？

- * 1) 今服用している薬について
- * 2) 服用している薬以外の薬について
- * 3) 医師が作った処方内容についての薬剤師の意見
- * 4) 新しい治療薬について
- * 5) 薬の服用についての相談
- * 6) 生活上の相談
- * 7) 相談相手をしてほしい
- * 8) その他

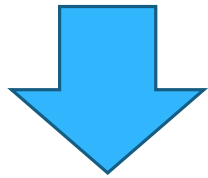
Q3在宅医療を受けている時どのような事が気になりますか？

- * 1) 現在受けている治療内容について
- * 2) 治療に係る金銭的な事
- * 3) 今後の生活について
- * 4) 何かあった時に直ぐに対応してくれるだろうか？
- * 5) 家族の事
- * 6) 不快な症状や苦痛
- * 7) 食事の事やトイレの心配
- * 8) その他

調査の目的

* 立地から機能へ

24時間時間対応・在宅対応等、患者・住民のニーズに対応できる機能



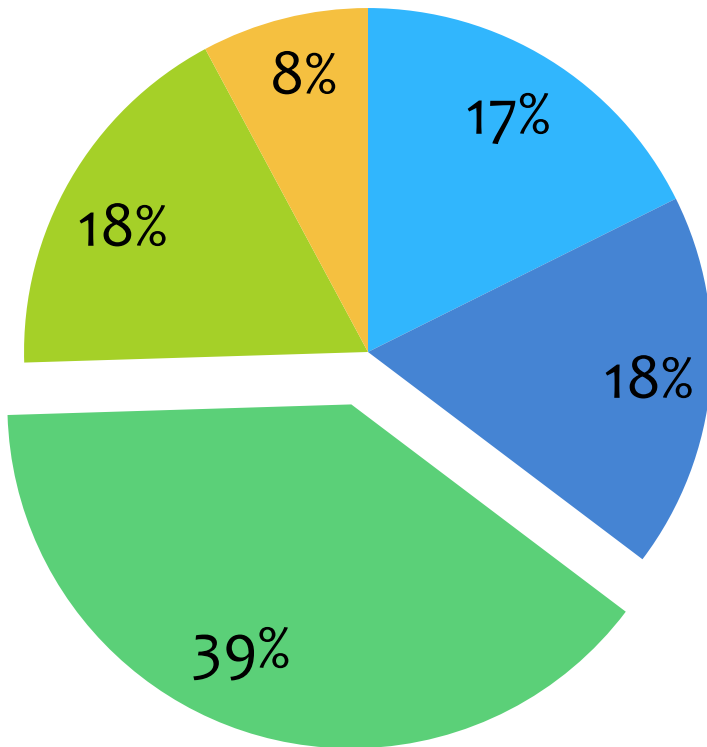
患者が薬剤師に求める在宅医療への現状把握

2025年地域包括ケアシステムで活躍できる薬局・薬剤師とはどのような形なのか？！

Q1の解析

薬剤師の訪問N=51

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

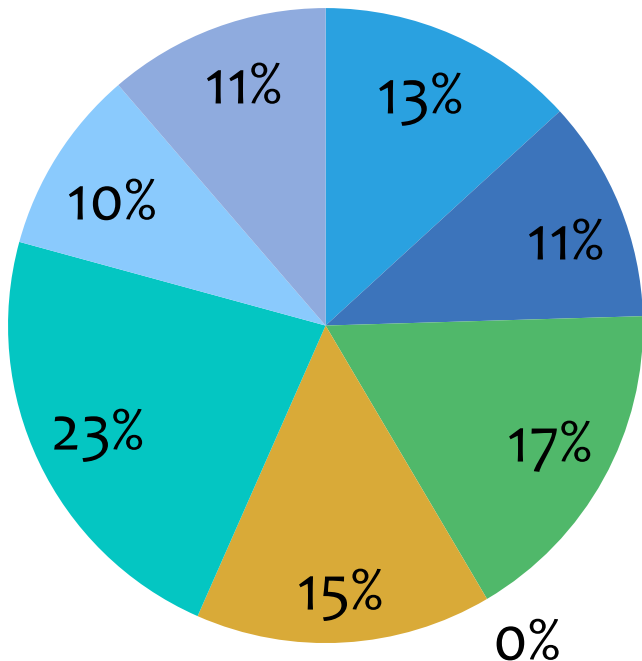


初めての時は来てほしいがその後は、来なくてもいい！

Q2の解析

薬剤師に話してほしい事

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8



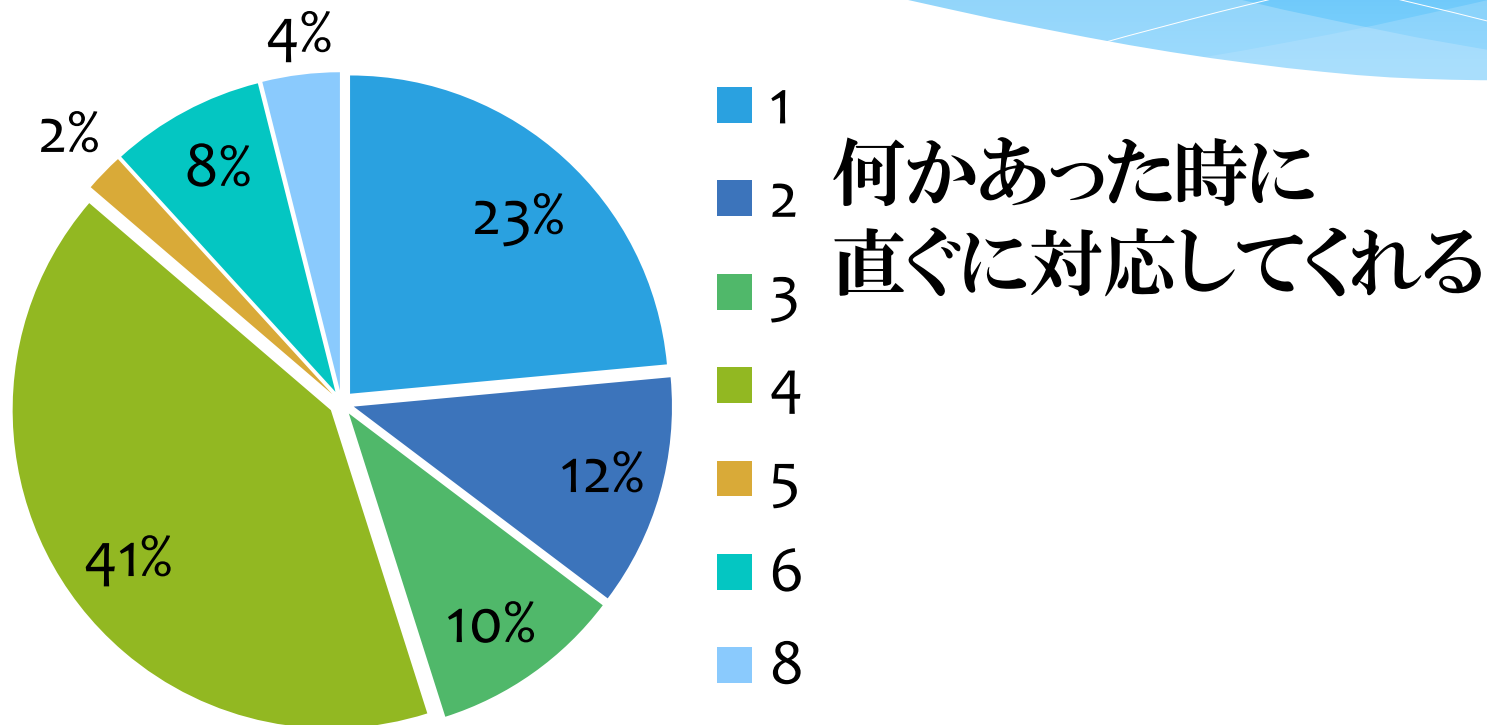
23%の生活上の相談



薬の相談が一番多いわけではなく
なんでも聞きたい

Q3の解析

在宅医療で気になること



結果



薬剤師は、直接患者さん宅へ行く事は求められていない、

求められていることは、
経済性、救急性(24時間開局)！？

在宅医療における薬剤師に話してほしい事に対する解析



24時間開局の必要性



考察

- * 今回の結果にある背景は、薬剤師という存在がDrの処方に対し疑義紹介することもなくただ渡す事だけをしてきた存在として患者・住民に理解されているからではないだろうか？

地域包括ケアシステムにおける在宅医療対応

薬のプロ 薬のことで困っていませんか？

薬剤師がご自宅へお伺いします！

医療・介護保険制度を利用して、薬剤師の訪問サービスが受けられます。
(介護保険の利用限度額には含まれません)



薬の管理ができない
An elderly man sits at a table with a bottle of medicine and several pills. A pharmacist is shown nearby.

飲みづらい、飲んでくれない服薬の介助に時間がかかる
An elderly man is in bed, looking unwell, while a pharmacist assists him with his medication.

飲み忘れてしまう
A pharmacist asks, "薬をちゃんと飲みましたか？" (Did you take the medicine properly?). The elderly man looks thoughtful with a question mark above his head.

薬に対する不安、疑問 薬剤師がお応えします。
Two pharmacists stand together, ready to provide information and support.

何に効く薬かわからない
An elderly man holds a pill bottle with a question mark above his head, looking confused.

錠剤をつぶして飲んだりして大丈夫？
An elderly man is shown crushing a tablet with a mortar and pestle, with a thought bubble containing a question mark.

たくさんの種類を飲んで大丈夫？ 飲み合わせは？
An elderly man holds several different pills, looking uncertain.

経済性・緊急性を考慮



<患者本位の医薬分業で実現できること>

- 服用歴や現在服用中の全ての薬剤に関する情報等を一元的・継続的に把握し、次のような処方内容のチェックを受けられる
 - ✓ 複数診療科を受診した場合でも、多剤・重複投薬等や相互作用が防止される
 - ✓ 薬の副作用や期待される効果の継続的な確認を受けられる
- 在宅で療養する患者も、行き届いた薬学的管理が受けられる
- 過去の服薬情報等が分かる薬剤師が相談に乗ってくれる。また、薬について不安なことが出てきた場合には、いつでも電話等で相談できる
- かかりつけ薬剤師からの丁寧な説明により、薬への理解が深まり、飲み忘れ、飲み残しが防止される。これにより、残薬が解消される など

自宅に行かなくても多職種連携で

結論

薬剤師という人間性を能動的に



薬剤師仕事の受動性

機能的・経済性

地域包括ケアシステムが推進する在宅医療のためには

薬剤師が訪問しない経済的な在宅医療が有効。そのためには多職種連携が薬学的管理をするためには必要になる

2025年在宅医療参入への薬局像

- * 第一：入院医療→在宅医療
- * 第二：セルフメディケーション

まとめ

- * 国が出している薬局ビジョンには、疑義紹介件数の少なさ、処方提案、多職種連携、コミュニケーション能力など、どれも薬剤師の能動的な働き方をいっている。
- * 患者のために能動的に動ける薬剤師を育成することがこれから必要とされるかかりつけ薬剤師であろうと考える。